

議会日誌



1月

- 5日 議会広報特別委員会
- 6日 六日山安全祈願式
- 7日 基地対策・幹線道路特別委員会
- 8日 予算特別委員会
- 12日 議会広報特別委員会
- 13日 総務文教常任委員会
- 14日 福祉生活常任委員会
- 15日 産業建設常任委員会
- 18日 予算特別委員会
- 27日 第1回臨時会
- 28日 南北都留郡町村議会正副議長連絡協議会行政視察

2月

- 10日 渋川広域議会運営委員会
- 17日 渋川広域議会2月定例会
- 24日~26日 議会運営委員会、基地対策・幹線道路特別委員会合同視察研修(岡山県・香川県)

3月

- 2日 議会運営委員会
八ッ場ダム視察研修
- 3日 総務文教常任委員会
- 4日 福祉生活常任委員会
- 5日 産業建設常任委員会
- 8日 第1回定例会(一般質問)
議会広報特別委員会
- 9日 総務文教常任委員会
- 10日 福祉生活常任委員会
- 11日 産業建設常任委員会
- 15日 第1回定例会(議案審議)
- 16日 基地対策・幹線道路特別委員会
環境整備特別委員会
- 17日 第1回定例会(平成22年度予算等)
- 25日 議会広報特別委員会
- 30日 議会広報特別委員会
議員視察研修



私の「青春の時代」

綿貫 秀夫

私には「語り伝えたい戦中戦後」と言えるか疑問だが、生涯に消え去ることのない想像を絶する体験を経て現代の平和を噛み締めている。

理由はよく理解できなかったが、300万人もの尊い命が奪われる戦争は、当時15歳にも未たない少年たちにも襲いかかった。勤労動員・満州への開拓義勇軍・幼年学校と言う名の軍隊。私も当時中学生で太田市の中島飛行場(軍事工場)へ動員中に、義勇軍への日

程が7月と決まり、その前月6月に幼年学校(戦車隊)合格による9月入隊が優先されることになった。このことで8月5日の前橋大空襲をまのあたりに体験している。B29から投下される照明弾が夜空を照らし、焼夷弾18万4,000発、爆弾870発、死者535人、負傷者約600人余りと日記に残されている。燃え上がる炎の中で逃げまどい、広瀬川に飛込んだ犠牲者で川止めとなったが、このおびただしい人達を葬るた

め駆り出され夢中で奉仕。焼けただれ人形のようになった骸の形相は今でも夢の中でまわりつく。

戦後「戦争責任」が論じられてきた「欲しがりません・勝つまでは」と苦しい生活に堪え納得できない大義を乗り越え、戦後復興を終えた私達には沖繩・長崎だけが犠牲者ではない。今、後期高齢者と呼ばれる私達も、あの忌まわしい地獄絵図のような悲惨な体験で青春を過ごしたが、現在では命の尊さを再認識し今「青春

お願い

皆様のご意見をお待ちしています。

◆連絡先：議会事務局 ☎54-2211

の夢」を見ていると言えよう。

若草の萌え出す季節になりました。私たち榛東村14期議会議員も、当選いらい1年が過ぎます。この、3月第1回定例会では、平成22年度新年度予算も議会でも可決されました。住民皆様に少ない予算で大きなサービスが出来るように、はかれたと思います。

広報委員会も心新たにしやすい議会たよりの作成を目指します。皆様のご意見もお聞かせください。(善養寺)

編集後記